

一般国道47号 高屋道路

「(仮)高屋トンネル」施工状況について
～地山補強の影響に伴う開通時期の見直し～

- 新庄酒田道路の一部を構成する高屋道路(延長3.4km)では現在、「(仮)高屋トンネル」の工事を進めているところです。
- 鉄道軌道上から地質調査を行った結果、地山補強の対象としている強風化岩について、当初想定に対し亀裂が多く、より広範囲で確認されました。
- このため、地盤条件などの技術的な課題が多いなかで、試験施工や学識者等で構成する「施工技術検討委員会」の助言を基に、当初計画の地山補強範囲や対策内容の見直しを行いました。
- 見直しして進めてきた地山補強などの施工実績から、今後予定されている高屋トンネルの地山補強を含む残工事量を精査すると、令和6年度に予定していた開通時期の見直しが必要な状況です。
- 開通時期については、今後のトンネル工事の進捗を踏まえて工程を精査し、改めてお知らせいたします。

■開通時期の見直し

《現在》

令和6年度開通予定



《見直し後》

開通時期については、トンネル工事の進捗を踏まえて精査

発表記者会: 山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会、山形建設業界専門紙

問 合 せ 先

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所

電話番号 023-688-8421(代表)

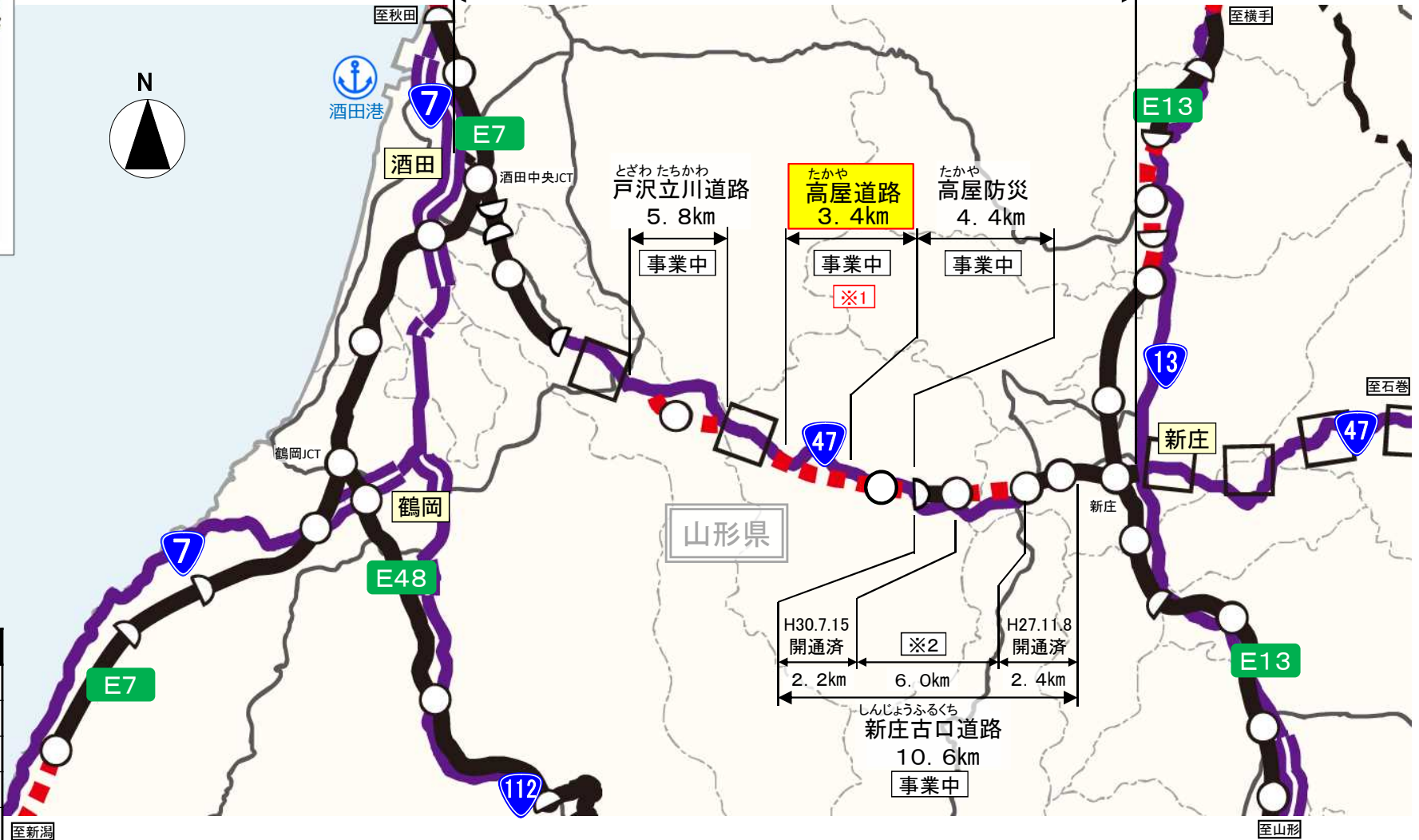
副所長(道路) 佐藤 正 (内線205)

新庄酒田道路

広域図



しんじょう さかた
新庄酒田道路 約50km



凡例

高規格道路	
開通済み	——
事業中	- - - - -
計画路線	□□□□
直轄国道	
2車	——
4車	——
補助国道	
	——

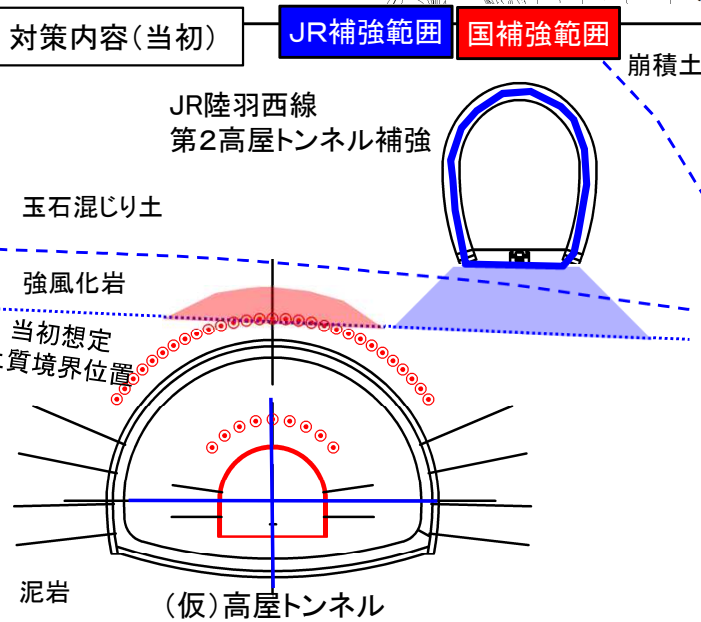
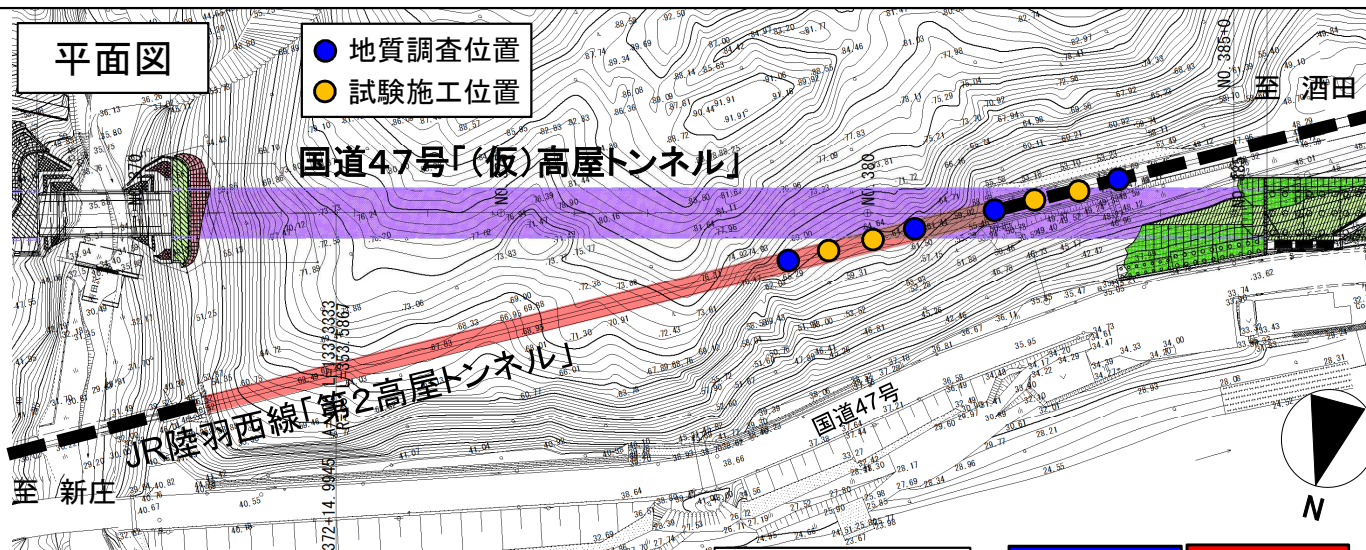
※1 開通時期については、トンネル工事の進捗を踏まえて工程を精査

※2 開通時期については、変状したトンネル本体の再構築範囲が決定した段階で工程を精査

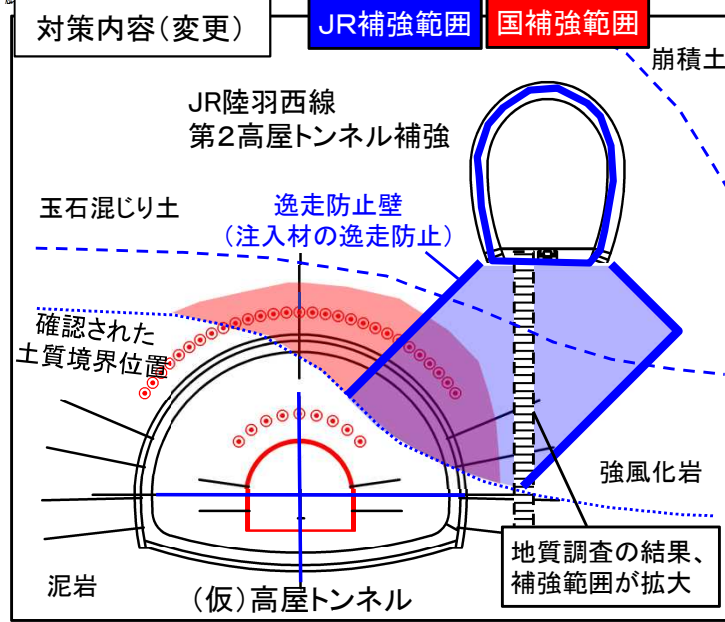
地山補強に係る対策内容の見直し

別添

- 鉄道軌道上から地質調査を行った結果、地山補強の対象としている強風化岩について、当初想定に対し亀裂が多く、より広範囲で確認
- 今般、試験施工や学識者等で構成する「施工技術検討委員会」の助言を基に、当初計画に対して地山補強範囲の拡大や、対策内容の見直しを実施（注入材の変更、注入率の増加、逸走防止壁の構築）



- <対象地山>
- ・未固結な玉石混じり土及び強風化岩
- <注入材>
- ・セメント系(固結が遅い)
- <施工方法>
- ・強風化岩まで改良



- <対象地山>
- ・未固結な玉石混じり土及び亀裂の多い強風化岩 (範囲拡大)
- <注入材>
- ・水ガラス系(固結が早い)
- <施工方法>
- ・強風化岩まで改良 (注入率の増加)
 - ・逸走防止壁を構築